

- 日 時：令和元年10月13日(日)
- 場 所：佐賀市役所 4階大会議室
- 参加者：30名(6名×5班)10代～70代男女

## 市民ワークショップの様子 【テーマ】新しい佐賀駅前広場について考えよう

### 話題提供

- ・佐賀駅周辺整備事業の概要
- ・基本計画の概要
- ・交流広場の活用事例紹介

### グループワーク

- ①自己紹介と基本計画への印象
- ②意見カードを用いて  
期待すること、交流広場への提案

### 発表

- ・各グループの発表
- ・講評、まとめ



## 市民ワークショップで出た意見等

### 【総論】

- ・歩行者中心の空間の確保（交通機能を整理して、滞留空間、緑地空間を生むこと）については、好意的に受け止められている。
- ・広場空間そのものが狭いとの意見があったものの、限られた空間であるから広く見せる、広く使える設計の配慮が必要との意見が多かった。
- ・広場の利活用などについては、大きなイベントよりも広場での過ごし方や居場所的な空間、身の丈にあった小さなイベントの活発な開催などを望む声が多く挙げられた。

### 一南口

- ・憩いの空間や水場で遊べる空間としての活動イメージが挙げられ、季節や昼夜を問わず快適に過ごせる設備の工夫やグリーンインフラなどを活用した計画の必要性が挙げられた。
- ・「佐賀らしさ」を感じられる工夫についても多く意見が挙げられ、佐賀の歴史・伝統に触れる機会や食に関連したアイデアなども挙げられた。

### 一北口

- ・広場空間が狭いこともあり、広場だけで完結する活動よりも三溝線やSAGAサンライズパークと連携した活動を期待する声が多く挙げられた。
- ・アリーナ建設に伴い、スポーツにちなんだコンテンツの展開やeスポーツ、アニメなどといった新たな文化の息づく場所としての活用が提案された。